

平成30年度 御幸が原小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人権尊重の精神を基盤に，児童が自立と共生を果たし，これからの時代を生涯にわたり創造的にたくましく生き抜くための人間力の基礎を培う。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

児童の健全な成長には，良き人・集団との出会いと，学びの場にふさわしい環境が不可欠であることを踏まえ，教職員が熱意と英知を結集し，家庭・地域と連携しながら活力に満ちた教育活動を展開する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1)○児童が教師に安心感や信頼感がもてるよう，多面的な児童理解と認め励ます指導に努める。
- (2)児童がよりよい学級・学校づくりに向けて主体的に活動・活躍する場を，意図的に仕組む。
- (3)分かりやすく，学ぶ(学び合う)楽しさや喜びを実感できる授業実践に努め，学力の向上を図る。
- (4)開かれた学校づくりを推進し，教育効果を高めるため，保護者との関係構築，地域の教育資源の積極的活用，鬼怒地域学校園の小・中学校との連携推進を図る。
- (5)教職員相互の闊達な交流と協働によるチーム力の維持・向上に努める。
- (6)課題意識をもって校務の工夫・改善に努め，学校組織の機能向上と効率化に努める。

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

自 立 ～より良い判断をし，学習や学校生活に意欲をもって取り組む子どもの育成～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- ・効果と効率性の両面を踏まえた校務の工夫・改善
- ・積極的な情報発信と家庭・地域・関係機関との連携推進

【 学 習 指 導 】

- ・主体的・対話的で深い学びを追究する授業づくりの推進
- ・個に応じた指導と，学習内容の定着を図る指導の充実

【 児 童 生 徒 指 導 】

- ・自他を大切にし，きまりやマナーを守る児童の育成
- ・よりよい学級・学校づくりへの意欲と行動力を高める指導の充実

【健康(体力・保健・食・安全)】

- ・運動に親しみながら体力の向上を図る指導の強化
- ・健康・安全への意識と実践力の強化を図る指導の充実

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
学校運営の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 児童が意欲的に活動できる学校行事の計画・実施に努めるとともに、児童会・委員会活動など児童の主体的活動を積極的に展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表委員会を中心とした委員会活動の活性化 学級での活動の充実 ふれあい活動の充実 <p>② 異学年・幼児・高齢者・地域・学校支援ボランティアなどとのふれあいの機会や交流活動の充実を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>91.7</td> <td>92.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童会・委員会活動やふれあい活動等の充実により、9割を超える肯定的回答率が得られた。</p> <p>ふれあい班活動では、高学年児童が自分の役割を果たすことでリーダーとしての自覚が高まった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・学級減や教職員数減に伴い、委員会の統廃合も含め、より一層積極的に活動を展開できるように工夫する。</p>		H29	H30	児童	91.7	92.6		
		H29	H30									
	児童	91.7	92.6									
<p>A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 児童一人一人を見取り、声をかけ、よく話を聴き、よいところは認め、指導すべきところはきちんと指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の様子を観察し、変化を捉える 児童の話を聴く姿勢を第一に <p>② 保護者との連絡・連携を密にして信頼関係を築き、児童理解や児童指導に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級懇談や学年だより等の活用 連絡帳や電話等での連絡・連携 	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>97.4</td> <td>97.3</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>94.4</td> <td>93.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童対象の教育相談等で傾聴に努めたこと、家庭との連絡・連携により児童理解を深めたことにより、今年度も9割を超える肯定的回答率が得られた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>児童・保護者に対して丁寧な対応を継続し、さらに深い信頼関係の構築に努める。</p>		H29	H30	児童	97.4	97.3	保護者	94.4	93.0
	H29	H30										
児童	97.4	97.3										
保護者	94.4	93.0										
<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「みはらのきまり」をもとに週の生活目標を設定し、全職員が同じ姿勢で指導や支援にあたる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 週の目標は行動目標とし、同一步調で指導にあたる。 「みはらのきまり」と「めざせスーパーみはらっ子」との関連を図る。 <p>② 全職員の共通理解の下、全校体制で組織的に支援に当れるよう、報告及び情報交換を確実にっていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の情報交換会や児童指導部会（毎月）の実施 	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>81.7</td> <td>82.1</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>85.7</td> <td>85.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「みはらのきまり」と「めざせスーパーみはらっ子」との関連を図ったことで、きまりを守ろうという意識が高まっている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・さらに意識できるように、全職員の共通理解のもと、認め励ます指導を日常的に行っていく。</p>		H29	H30	児童	81.7	82.1	教職員	85.7	85.3
	H29	H30										
児童	81.7	82.1										
教職員	85.7	85.3										

<p>A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○① 学校課題に沿って指導目標を明確にし、分かる授業を目指して指導法の工夫や教材教具の工夫に努める。 ・学習課題、「めあて」の明確化 ・分かりやすい板書の工夫 ・話し合い活動の充実</p> <p>③ TTや少人数・習熟度別による指導を充実させ、成就感を味わわせるとともに補充のための学習を充実させる。(5学年～)</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>96.9</td> <td>94.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ポイントは下がっているが、9割を超える肯定的回答率を得ることができた。学習課題や「めあて」を明確に示すことにより、児童が「何を学ぶ時間か」を意識することができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・TT、少人数・習熟度別学習については、学年で効果的学習形態を工夫して実施する。可能な限り、中学年から取り入れていくことも検討する。</p>		H29	H30	児童	96.9	94.7			
	H29	H30									
児童	96.9	94.7									
<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる」 ⇒教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① いじめの早期発見・早期対応のためのアンケートを実施し(年5回)、気になる児童への教育相談を行う。</p> <p>② いじめゼロ強調月間(5月・9月)の取組を実施し、いじめは決して許されないことを理解させる。また、なかよし委員会の活動により、児童の自発的な活動を促す。</p> <p>③ いじめ対策における学校での取組みを、学校だより等で保護者に伝え、連携を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>97.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・アンケートの実施や児童会による児童の主体的な活動により、様々な場で指導する機会を設けることができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校だよりだけでなく、いじめゼロ強調月間の学年だよりに、いじめに関する取り組みを紹介する記事を載せ、保護者との連携を図っていく。</p>		H29	H30	教職員	100	97.1			
	H29	H30									
教職員	100	97.1									
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○① 学校評価を踏まえた教育課程を確実に実施し、学校行事・授業参観の実施後、職員間での話し合いや保護者によるアンケート等により、工夫改善を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>91.9</td> <td>92.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・通常の授業に加え、出前授業等を積極的に取り入れたことで、より充実した教育課程の実施ができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・授業参観後のアンケートがあることを保護者にPRし、より多くの保護者の意見をいただき、教育課程の充実に関わり付けられるようにする。</p>		H29	H30	児童	91.9	92.6			
	H29	H30									
児童	91.9	92.6									
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校だより、学年だより、ホームページ等で、必要な情報を積極的に発信する。</p> <p>② 「うつつのみやオープンスクール」を含め、学校公開日に地域の参加者が多くなるよう地域回覧等で呼びかける。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>96.0</td> <td>96.2</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・様々な形式による情報発信ができており、保護者・地域共に昨年を上回る高い肯定的回答率となった。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後も、学校や地域での児童の活動の様子を中心に、情報を発信していく。</p>		H29	H30	保護者	96.0	96.2	地域	100	100
	H29	H30									
保護者	96.0	96.2									
地域	100	100									
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、地域や企業の方々と一緒に活動したり勉強したりすることで、学習が充実し楽しい」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「魅力ある学校づくり地域協議会」と積極的に連携・協力し、学校運営の充実を図る。</p> <p>② 企業や専門家派遣の出前授業、街の先生、学校支援ボランティアを活用した授業を各学年1回以上実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>93.5</td> <td>92.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・専門性の高い外部講師を迎えての出前授業や、ボランティアの活用によるきめ細かな支援を行ったことで、児童が様々な体験をすることができた。</p> <p>【次年度の方針】 ・各年毎に児童の実態に合った有意義な体験ができる教育活動を計画していく。</p>		H29	H30	児童	93.5	92.4			
	H29	H30									
児童	93.5	92.4									

<p>A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすい環境である」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 清掃の行き届いた校内を目指し、清掃活動に力を入れる。 ・学級中心の班での清掃活動 ・清掃用具の後片付けの徹底 ・身支度の徹底や反省の仕方の見直し</p> <p>② 教室掲示（黒板上）の統一</p> <p>③ BGMの効果教育活動に生かし、落ち着きと潤いのある学校環境に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>83.0</td> <td>88.9</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88.5</td> <td>91.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・清掃に関して、カードやハンコによりで称賛されることが児童のやる気につながっている。清掃することで学校がきれいになると嬉しいと感じている児童も増えてきている。</p> <p>【次年度の方針】 ・清掃後の反省会の見直しを行い、清掃活動に対する意欲と意識を高められるような取組を行う。</p>		H29	H30	児童	83.0	88.9	保護者	88.5	91.4
	H29	H30									
児童	83.0	88.9									
保護者	88.5	91.4									
<p>A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、小学校と中学校が連携した取組を主体的に行っている。」 ⇒教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 地域学校園各部会・分科会毎に今年度の基本方針を受けた取組の充実を図る。 ・各部会、分科会の進捗状況について情報共有する。</p> <p>② 5校連教育講演会や全体研修会の実施により、小中の相互理解を深める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td>100</td> <td>97.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・小中の乗り入れ授業が充実しており、各部会・分科会ごとの活動について情報共有がなされていた。</p> <p>【次年度の方針】 ・教育講演会や全体研修会の内容を精選することで、負担感無く且つ内容の充実した取組となるよう学校間で連携を図っていく。</p>		H29	H30	教職員	100	97.0			
	H29	H30									
教職員	100	97.0									
<p>A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。」 ⇒教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校スタッフと学級担任が役割分担しながら、児童の教材準備や個別の指導・支援・相談の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td></td> <td>67.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・学校スタッフの活用により、業務の縮減よりも個別の指導や支援、相談が充実した。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校スタッフと学級担任の役割分担を明確にし、教員の業務の分担もできるようにする。</p>		H29	H30	教職員		67.6			
	H29	H30									
教職員		67.6									
<p>A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。」 ⇒教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校スタッフに関連する校務担当教職員が窓口となって児童・保護者・教職員とつなぐことにより、円滑なコミュニケーションと連携が図れるようにする。</p> <p>② 打合せや会議等で、各学校スタッフからの連絡・要望を周知し、情報共有を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教職員</td> <td></td> <td>94.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・学校スタッフとコミュニケーションが取れる教職員が多く、円滑な連携が図れた。</p> <p>【次年度の方針】 ・次年度も教員と学校スタッフが連携を図りながら教育活動に取り組む。</p>		H29	H30	教職員		94.1			
	H29	H30									
教職員		94.1									

	<p>B1 学校は、人権尊重及び自他の生命や存在を大切に する児童の育成に取り組 んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生は、 自分の話や悩み・相談などを真 剣に聞いてくれる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① どの子にも居心地のよい学級づ くりを目指す。 ・年間1回、授業参観時に道徳の 授業を実施 ・年間35時間、道徳の授業の実 施 ・Q-Uテストの実施、事例研究会 実施、活用</p> <p>② 人権教育を全校体制で推進し、 自他を大切に思う心や態度・実践 力の育成に努める。 ・教職員対象の人権ワークショッ プの実施。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>95.1</td> <td>95.4</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88.2</td> <td>88.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・教育相談や道徳の授業を各クラスで確実に 実施したり、日頃から児童の話真剣に聴い たりしようという教職員の意識が高まって いる。</p> <p>【次年度の方針】 ・次年度も継続的に取り組んでいくが、教職員 対象の人権ワークショップを早い時期に行 い、教職員の人権意識と高めていく。</p>		H29	H30	児童	95.1	95.4	保護者	88.2	88.1			
	H29	H30													
児童	95.1	95.4													
保護者	88.2	88.1													
教育 活 動 の 状 況	<p>A13 児童は、進んであいさ つをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童 は、時と場に応じたあいさ つをしている」 ⇒児童・教師・地域住民の 肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 児童会（あいさつ委員会）が中 心となってあいさつ運動を実施す る。（毎週火・金曜日の朝実施） ・学校だより・学級懇談会であい さつ励行を保護者に伝える。 ・「めざせ スーパーみはらっ子」 カードの活用。 ・あいさつ標語・ポスターの募集。</p> <p>② 地域連携及び地域学校園で共通 課題として、あいさつ運動を展開 する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>91.3</td> <td>93.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>94.3</td> <td>85.3</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>100</td> <td>82.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「めざせ スーパーみはらっ子」カードの活 用により、校内でのあいさつの意識は継続し て高い。</p> <p>【次年度の方針】 ・地域でもあいさつができるように、あいさつ 委員会の活動の一つとして位置付けていく。 児童同士で認め合える活動を新たに考えてい く。</p>		H29	H30	児童	91.3	93.7	教職員	94.3	85.3	地域	100	82.6
		H29	H30												
	児童	91.3	93.7												
教職員	94.3	85.3													
地域	100	82.6													
<p>A14 児童は、正しい言葉 づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童 は時と場に応じた言葉づ かいをしている」 ⇒児童・教師・地域住民の 肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 発表の仕方、敬語の使い方等 について学年の発達段階に応じた指 導をする。</p> <p>② 「ふわふわ言葉」「学級で使っ ていきたい言葉」をもとに、思いや りに満ちたコミュニケーションの醸 成を図るとともに、学校だより・学 年だより等で保護者に伝える。</p> <p>③ 国語・道徳等で正しい言葉遣い について指導をする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>77.4</td> <td>85.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>85.7</td> <td>76.5</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>90.5</td> <td>68.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・継続した指導により、児童の意識は高まっ ているが、敬語の正しい使い方は、大人によっ ては認識が違ってくる。児童も教職員も明確な 基準を設ける必要がある。（です。ます。の使 い方等）</p> <p>【次年度の方針】 ・「めざせ スーパーみはらっ子」で、よい 言葉遣いの基準を明確にし、担任以外の教職 員からも称賛されるようにしていく。</p>		H29	H30	児童	77.4	85.7	教職員	85.7	76.5	地域	90.5	68.2	
	H29	H30													
児童	77.4	85.7													
教職員	85.7	76.5													
地域	90.5	68.2													
<p>B2 児童は、健康に気をつ けて生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童 は、自分の健康に気を付け て生活している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 昨年度の生活についての実態調 査をもとに（特に睡眠時間・食生 活）、家庭との連携を図り啓発や指 導をする。（学年だより等で結果や 指導について取り上げる。）</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>85.7</td> <td>75.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・就寝時刻が遅い児童や、給食では苦手な食 べ物も頑張っ て食べているが家庭では食べない 児童が見られることなどから、10ポイント近 く下がったのではないかと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 ・児童の生活について実態調査をもとに現状 を把握し、特に睡眠と食生活について、家庭・ 児童への啓発・指導を強化する。</p>		H29	H30	保護者	85.7	75.6							
	H29	H30													
保護者	85.7	75.6													

健康・体力

A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。

【数値指標】

全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している。」⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上

- ① 自ら体力作りに励めるように体育や学校行事・特別活動等の工夫に努める。
 - ・みはらチャレンジギネス
 - ・マッチョマンだよりの発行
 - ・外遊びの励行

B

【達成状況】

	H29	H30
児童	87.0	85.7
教職員	94.3	94.1

・運動委員会主催のチャレンジギネス、ドッジボール大会、長縄大会などの実施により、運動への関心を高めることができた。

【次年度の方針】

・休み時間の外遊びをより励行する
・発達段階に合ったサーキットトレーニングを体育授業等で取り入れる。

A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。

【数値指標】

全体アンケートの「児童は好き嫌いなく食べている。」⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上

- ① 食育の充実を図る。
 - ・教育相談を活用した個別指導の強化
 - ・各教科での食に関する指導
 - ・給食だよりの発行
 - ・お弁当の日の活用
 - ・好き嫌い克服メニューの工夫

B

【達成状況】

	H29	H30
児童	70.9	90.3
教職員	65.7	91.2

・「完食マッチョマンカード」の活用や「なんでも食べよう大きくせん」実施等で担任や学校栄養士が働きかけを継続したことで、児童がバランスよく食事する大切さを意識することができ、肯定的回答率が約20ポイント上がった。

【次年度の方針】

・引き続き、家庭への啓発とともに、担任等による児童への働きかけを進めていく。

B3 児童は、運動能力向上に向けて自身の体力について考えている。

【数値指標】

全体アンケートの「児童は、体育の授業などで、自分の記録や技を伸ばそうと努力をしている。」⇒児童の肯定的回答 80%以上

- ① 水泳検定・縄跳び等のカードを有効に活用する。
- ② 新体カテストの結果から自身の運動能力向上に向けた能力向上への手立てを教師が提示したり、自分で考えたりする。

B

【達成状況】

	H29	H30
児童	87.4	88.6

・水泳・縄跳び等の検定が効果的だった。

【次年度の方針】

・学年に合った鉄棒や持久走、上り棒などの検定表を活用するなど、児童の体力向上につながる取組を工夫する。

学習等

A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。

【数値指標】

全体アンケートの「児童は、授業中進んで話し合うなど、積極的に学習している。」⇒児童・教師の肯定的回答等 80%以上

- ① 漢字の読み書きや計算力定着を図る指導の充実を図る。
 - ・朝の国算チャレンジタイムを活用した学習支援の充実（国語ドリルなど）
 - ・宮っ子ステップアップシートの活用
- ②家庭学習習慣の確立のための工夫を図る。
 - ・「みはらっ子家庭学習の手引き」の活用
 - ・自主学习ノートの活用と啓発と保護者への協力依頼
- ③ 話合いの仕方の指導
 - ・話合いの意図的な設定と工夫

B

【達成状況】

	H29	H30
児童	89.0	89.1
教職員	97.1	97.0

・学校全体が、落ち着いて学習に取り組める環境になってきた。

【次年度の方針】

・今年度の具体策を継続し、児童が自信をもって学習に取り組めるよう指導・支援を行う。

	<p>A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中話をよく聞くなど落ちて学習している。」 ⇒児童・教師の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○①基本的な学習態度・技能（聞く・話す）の育成に努める。 ・「話し方」「聞き方」の合言葉を作成し、教室掲示をして活用する。</p> <p>② 学びに向かう集団づくりのための学級経営の充実を図る。 ・自由に情報や意見を交換し合う場の意図的な設定 ・他者の考えを尊重し生かし、自分の考えを的確に表現する能力と態度を育成する。 ・クラス目標の掲示とその達成に向けた全員での協力と努力</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>79.9</td> <td>85.0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>97.1</td> <td>87.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童は「自分は学習に対して努力している」という意識をもっている。一方で教員はより高い理想を目指し指導している状況である。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の具体策を継続し、児童が安心感の中で落ち着いて学習に取り組めるよう、指導・支援を行う。</p>		H29	H30	児童	79.9	85.0	教職員	97.1	87.9			
	H29	H30													
児童	79.9	85.0													
教職員	97.1	87.9													
	<p>A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「児童は地域でのボランティア活動や行事に参加している」 ⇒児童・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 地域清掃等のボランティア活動の場を設定し、児童の地域社会貢献への意欲と行動力を高める。 ・年間5回、学区内の公園清掃</p> <p>② 地域行事への参加協力（作品展・6年合唱等）や周知により、児童が関心を持ち参加するきっかけづくりに努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td></td> <td>86.3</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td></td> <td>64.4</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td></td> <td>81.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>学校のボランティア活動は4年生以上対象なので保護者の肯定的回答が高くないと考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 今後も地域への社会貢献意欲を高めるために、児童会による公園清掃活動を継続する。</p>		H29	H30	児童		86.3	保護者		64.4	地域		81.8
	H29	H30													
児童		86.3													
保護者		64.4													
地域		81.8													
	<p>B4 児童は、本の楽しさを味わっている。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「児童は、読書を楽しんでいる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 読書意欲の向上を図るための環境・指導の充実を図る。 ・読み聞かせの充実 ・朝の読書タイム ・読書週間の実施（委員会） ・お話し会 ・家読のすすめ【親子読書等】 ・読書記録の活用 ・必読図書の実施 ・読書マッチョマンカードなどの多読賞 ・新刊本、お薦め本の紹介 ・市立図書館の活用 ・図書館だよりの発行</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>78.7</td> <td>82.5</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>61.5</td> <td>63.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・授業で、読書の機会を増やした成果か。</p> <p>【次年度の方針】 ・週1回程度、高学年向けに朝の時間に図書館解放を企画して、一層読書の機会を増やしてはどうか。（高学年の貸し出し時間が少ないため）</p>		H29	H30	児童	78.7	82.5	保護者	61.5	63.2			
	H29	H30													
児童	78.7	82.5													
保護者	61.5	63.2													
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B5 学校は、「自分を伸ばし、仲間と伸びる児童」を育てる教育活動を工夫している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、『自分を伸ばし、仲間と伸びる児童』を育てるために、児童会活動の活性化に努めている。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 児童の発想を生かした児童会活動や、仲間と力を合わせて取り組む学校行事の内容充実を図る。 ・あいさつ運動や地域清掃活動等、児童の発想を生かした委員会活動 ・児童によるスローガン募集と運動会運営 ・児童集会の内容充実 ・募金活動等 ・チャレンジギネス等の活動</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>80.1</td> <td>86.9</td> </tr> <tr> <td>地域</td> <td>94.1</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童会を中心とした地域清掃実施など、児童が地域貢献できる場を設定したことは、児童の地域参画意識の向上につながった。 ・学校や学年での行事でも地域とのかかわりをもつ学習活動がうまく機能した。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度同様、ホームページや学校だよりで地域に学校の様子を周知していく。</p>		H29	H30	保護者	80.1	86.9	地域	94.1	100			
	H29	H30													
保護者	80.1	86.9													
地域	94.1	100													

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 昨年度の結果とほぼ同様、全体的に、児童・保護者・地域・教職員のいずれも高い肯定的回答率を得ることができた。
- ・ 「学校全体に活気がある」「教職員が協力して熱心に指導している」「学校は家庭・地域・企業等と連携・協力し教育活動や学校運営の充実を図っている」については、全対象で9割以上の肯定的回答率となった。家庭や地域と連携した豊かな学習活動を工夫したり、外部講師による出前授業の活用をするなど体験活動の充実を図ったりしたことで、児童は、達成感・満足感を得ることができた。
- 「好き嫌いなく給食を食べている」は、全対象で昨年度の肯定的回答率を大きく上回った。児童指導部の取組「めざせスーパーみはらっ子」を生かし、担任や学校栄養士の様々な働きかけが効果的であった。
- 気持ちのよいあいさつや時と場に応じた言葉遣いについては、学校内では定着が感じられるようになっているが、校外で地域の方に対する実践が不十分であった。今後も学校内外で児童が自ら常に意識し、習慣化できるような取組を工夫する。

6 学校関係者評価

- ・ 今年度も、全体的に肯定的回答率が高く、学校の教育活動や取組についてご理解いただくとともに、教育活動の更なる質の向上や児童へのきめ細やかな支援の実現のために、積極的にご協力をいただくことができてありがたかった。
- ・ 児童は明るく素直で、授業中には落ち着いて学習に取り組んでいる。
- ・ 学校内の清掃が行き届いており、整然としている。
- ・ 交通指導をしていて児童に声をかけた時に「ありがとうございます」と明るく言葉を返してくれる児童がおり素晴らしい。
- ・ 生まれ育ちの違う児童を統一的に教えることは大変なこと。礼儀作法やあいさつができる教育の徹底をお願いしたい。「親学」も進めてほしい。
- ・ 教職員は、子どもたちの興味関心を引き出す教材の工夫をしている。児童により分かりやすい板書を工夫するとよい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 次年度も、教職員が自らの資質向上に努め、「児童が主体的に学び合うことのできる授業作り」や「児童が自己肯定感をもち、進んでよりよい行動をするための取組」を工夫していく。
- 学校内外における「気持ちのよいあいさつ」「時と場に応じた言葉遣い」「バランスのよい食事」、また、「規則正しい生活」については、家庭・地域・地域学校園との連携を密にし、地域ぐるみで習慣化が図れるよう、啓蒙や情報交換を継続する。
- ・ 今後も学校から、学校教育に係る様々な情報を発信したり、家庭・地域の教育力を教育活動の中で効果的に活用できるよう協力依頼をしたりすることで、学校・家庭・地域が連携をより強化し、学校のチーム力を高めることで、教育活動全体の質の向上を図っていく。